

# 平成30年度 研修計画

## (1) 研究主題

**自ら課題をもち、進んで学ぼうとする子どもの育成  
～関わり合いながら、学びを深めていく指導を通して～**

## (2) 主題設定の理由

### ①学校教育目標等

**夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!**

(徳)

(知)

(体)

《めざす子ども像》

- ・思いやりの心をもち、仲間と力を合わせて生活する子ども (徳)
- ・めあてをもち、課題や問題の解決に進んで取り組む子ども (知)
- ・困難に立ち向かい克服しようとする、たくましい心と体をもつ子ども (体)

《育みたい資質・能力》

- ・思いやりの心をもって人と接する力、仲間と協力し合い、自分の役割を自覚してよりよい集団を築く力
- ・課題を見出す力、自分の考えを言葉で表現する力、仲間と協力しながら課題を解決を目指す力
- ・より高い目標をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く力

### ②子どもの実態

#### ・主体的な学びの面から

- 意欲が向上し、めあてを意識し、自分の考えをもち、進んで課題を解決しようとする姿
- ▲事象等から問題点や課題を自ら見出し、解決すること

#### ・対話的な学びの面から

- 友達と協力し、助け合いながら解き明かすことの楽しさを感じる姿
- 考えたこと・学んだことを進んで表現しようとする姿
- ▲発達段階に応じた話す力 (考えを整理して、順序立てて等)・聞く力 (共通点や相違点に気を付けて等)
- ▲考えを整理したり、まとめたりする力

#### ・深い学びの面から

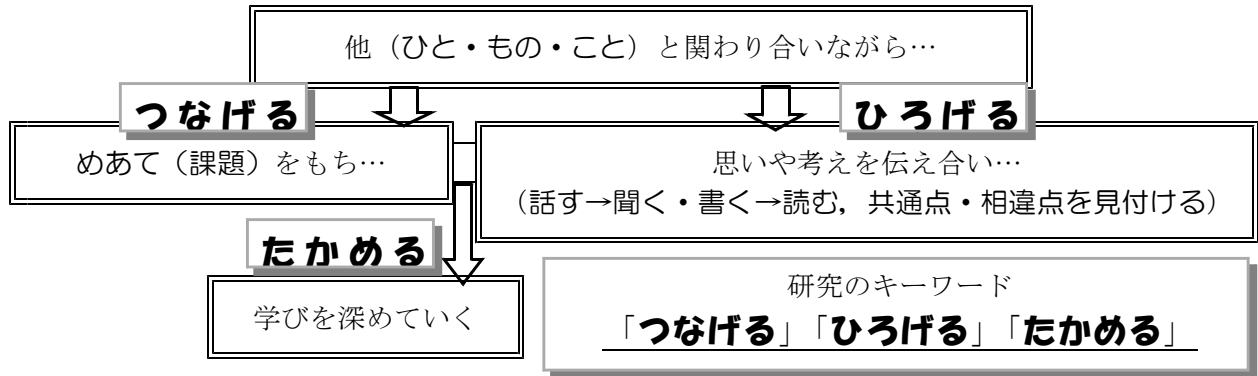
- ▲対話的な学びを通して、自分の考えを見直したり、他の考えを受け入れ取り組んでみたりすること
- ▲互いのよさや頑張りを認め、自分の成長に気付くとともに、学びを通して獲得した意欲・知識を基に、新たに取り組もうとすること

## (3) 研究の仮説

児童の実態把握を基に、問題意識を喚起する場面や事象の提示の仕方を工夫することで、必要感やめあてを意識して学習に臨むことができるだろう。また、子どもの思いや願い、考えを大切に学習過程を設定したり、必要感のある伝え合いの場を作り出したりすることで、他と積極的に関わり合い高め合おうとする子どもが育つであろう。さらに、考えたり伝え合ったりしたことを、他者の考えに触れ、次の学習や他の学習活動に活用していくことができるように働きかけることで、学びの質も深まるであろう。

(4) 研究を通して、目指す子どもの姿

他と関わり合いながら、めあてをもち、思いや考えを伝え合い、学びを深めていく子ども



(5) 指導上の工夫の視点

①めあてを引き出し、意識させるために

- ・考える意欲を引き出す課題設定や提示の仕方の工夫
- ・実態把握とともに子どもの思いや願いを大切にされためあて（ねらい）の設定
- ・子どもの内面に生じた思いや考えを、具体的な表現として引き出しつなげていくための工夫

②「話す力」や「聞く力」を育てるために

- ・話しやすく、話を聞き合える雰囲気づくりの工夫と人間関係の育成
- ・学年に応じた話し方や聞き方の指導とそれを生かした活動の場づくり
- ・話し合いを深めるための、学び合いの場・学習形態の工夫

③「考える力」を育てるために

- ・話を聞き取ったり、文章や資料等から必要な情報等を読み取ったりする指導の工夫とその活用
- ・考えを伝え合ったり、整理したり、ふくらませたりするための手立ての工夫

④「学びを深めて、生かそう」とする意欲を高めるために

- ・自己や他者の変容や成長に気付くことができるようなふり返りの場や内容の工夫
- ・学習したことを実際の生活に生かしたり、他の学習等で活用したりする場の設定

(補足) 基礎的・基本的な学力の定着を図る指導について

- ・TTや少数数学習が日常的に取り組めるような体制の継続と工夫
- ・朝学等での読書力向上への取組や、チャレンジタイムの内容の工夫と実施による集中力の向上
- ・家庭学習への取り組ませ方の工夫や、チャレンジテストの実施
- ・ユニバーサルデザインの視点による授業づくり

No.	評価項目	評価			
		A	B	C	D
1	自分事として課題をとらえたり、めあてをもったりして、主体的に課題解決に取り組む指導に取り組んでいる。				
2	自分の思いや考えをもち、活動の中で思考を深めていくための手立ての工夫を行っている。				
3	思いや考えを伝え合う指導の工夫を図っている。				
4	計画訪問や各種研修会、講習会等における研修から、個々の指導の工夫や改善につなげている。				